



listen と hear は簡単そうでよく間違えます。英語の「聴解力テスト」は a **listening comprehension test** と comprehension 「理解」をつける必要があります。a **hearing test** といえば、耳がちゃんと聞こえるかどうかを調べる聴力検査という意味がふつうです。また、listening の場合は、「君の聞き間違いだよ」だと You **heard** me wrong. であって、You listened to me wrong. とはいいません。listen と hear の違いは何でしょうか？

hear のコアは<聴覚器官がうまく機能して、声や音を聞く>というものです。聴覚器官がうまく機能し、ちゃんと何かを聞き届けるといことです。だから a **hearing test** だと「聴力検査」になるのです。Hear me out. だと「最後までちゃんと聞いてちょうだい」という内容です。「聞こえますか」は Do you **hear** me? といいます。「聞き間違いだよ」は間違っ聞き届けたということで、You **heard** me wrong. といいます。

一方、listen のコアは<耳を傾ける>ということですが。

通常、耳を傾ける対象を to で表します。相手に、「話を聞いて」と促すさいに、Now, **listen to** me. といいます。When I was young, I'd **listen to** the radio. といえば「若かりし頃、ラジオをよく聞いていたものだ」ということですが、ラジオのほうに耳を傾けるのが **listen to** the radio なわけですが、通常、音に耳を傾ければ、聞こえてきますが、listen には「理解する」というこ

とは含まれていません。そこで、「聴解力テスト」は a **listening comprehension test** と comprehension が必要なのです。また、I **listened** hard but I didn't **hear** anything. 「注意して聞いたが、何も聞こえてこなかった」のような言い方も可能です。

なお、hear には理解する部分までが含まれるため、**Hear** my prayer. 「私の祈りをお聞きください」つまり「(神様に) 私の祈りを聞き届けてかなえてほしい」という意味合いになります。一方、**Listen to** my prayer. だと「私が祈っているのを聞きなさい」と、親が子に祈りの言葉を教えているという場面が浮かびます。

### 本文中で解説した例文

Track\_064 &amp; 145

- You **heard** me wrong.
- Hear** me out.
- Do you **hear** me?
- Now, **listen to** me.
- When I was young, I'd **listen to** the radio.
- I **listened** hard but I didn't **hear** anything.
- Hear** my prayer.
- Listen to** my prayer.

### もっと listen & hear

Track\_065 &amp; 146

- Don't **listen to** such a guy. そんな奴のいうことは聞くな。
- Did you **hear that**? 聞こえた？
- First, **hear** what they have got to say.  
まず彼らの言い分を聞こうじゃないか。
- Come on. You **heard** me. You'd better start working now. ほら、ちゃんと聞こえたでしょう。さっさと仕事をしなさい。
- Are you **listening**, kids? ちゃんと聞いているかい？
- I haven't **heard from** my sister for three years.  
妹から3年間音沙汰がない。